

第105回 藤野地区まちづくり会議全体会 結果報告書

日時 令和7年7月17日(木) 午後7時から午後8時15分まで
会場 藤野総合事務所4階会議室
出席者 宮野代表、今井副代表、由森委員、森川委員、小山委員、守屋委員、加藤委員、黒川委員、渡辺委員、武田委員、佐藤委員、井上委員、高橋委員、小俣委員、星委員、津谷委員、杉本委員、山崎委員、森久保委員、小山(宮)委員、難波委員
事務局：野崎所長、斎藤総括副主幹、大塚主査、小室主任

[会議内容]

1 開 会

2 あいさつ (宮野代表)

3 議 題

(1) 地域活性化事業交付金を活用した事業(追加申請分)について

事務局より「令和7年度 地域活性化事業交付金について」の資料をもとに交付金の概要と評価について説明をした後、「令和7年度 藤野地区地域活性化交付金ヒアリング調書」をもとに藤野地区自治会連合会の申請内容について説明を行った。

以下、委員意見及び回答

- ・ビブスのデザインは決まっているのか。若い世代が着たいと思うデザインやビブスではなく、シャツなどかどうか。
⇒ビブスのデザインは、両面に透明のポケットがあるものを検討している。ポケットにはA4サイズの紙が入るため、活動内容を紙に書いてポケットに入れることで、活動の周知ができると考える。
- ・道路の作業時などビブスを着ると目立つため、事故防止に繋がると思う。
- ・ビブスは暑さ対策でメッシュタイプが良いのではないか。
- ・役員だけでなく、行事等に参加する方に着用してもらってはどうか。
- ・安全面なら黄色やオレンジ色が目立って良いと思う。
藤野なら藤色も良い。
- ・自治会全員に配れないのか。少ない枚数なら、中途半端になってしまうのではないか。
⇒予算の関係上、全員配布は難しい。
- ・ビブスを着用していなくても活動時に怪我をした場合、保険は出るのか。
⇒自治会活動であれば、ボランティア保険がある。
- ・ビブスの枚数をはっきりしたほうがよい。500枚と50枚とでは違ってくる。少ない枚数を配布されても逆に困るのではないか。
- ・自治会加入率が低い自治会や、危険な作業場所が多いところから配布してはどうか。
⇒他地区の予算の残りを活用するため、枚数はこの段階では明確にできない。
- ・ビブス配布により、自治会の会員数が増えたか効果検証はできないか。
- ・安全面確保、自治会が活動していることをPRすることをテーマにしてはどうか。

※以上の意見を参考に団体と内容の調整を行う。

(2) 各部会からの報告について

ア 藤野未来部会

部会長より、前回部会の内容について、結果報告書をもとに説明があった。
今後、交通手段の見える化等を行う。

イ 環境部会

部会長より、前回部会の内容について、結果報告書をもとに説明があった。
今後、沼田原の湧き水が出ている箇所を整備を行う。

(3) 藤野地区まちづくりを考える懇談会について

事務局より、「藤野地区まちづくりを考える懇談会について」の資料をもとに説明を行った。

全体のテーマを「路線バス撤廃に伴う交通の課題解決について」とした。

次回の部会で、藤野未来部会は「生活交通」、環境部会は「観光交通」の分野で懇談会の内容を検討することとした。

4 その他

(1) ゴミ置き場について

総合事務所の前のゴミ箱について、液体が入った袋がまた置かれていた。複数回置かれていて、袋が破けて液体が漏れると悪臭が酷い。

このことについては、事務局から津久井クリーンセンターに防犯カメラの設置を依頼する。

(2) 次回会議

全体会：令和7年9月18日（木）19時～藤野総合事務所4階会議室

5 閉 会（宮野代表）

以 上